



Paragon® II

クイック セットアップ ガイド

Paragon II をご購入いただきありがとうございます。このクイック セットアップ ガイドでは、Paragon II のインストール方法と設定方法について説明します。Paragon II の詳細については、『Paragon II ユーザ ガイド』を参照してください。このユーザ ガイドは、Raritan Web サイトの Firmware and Documentation [ファームウェアおよびマニュアル] セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。

注：Paragon スイッチの Ethernet ポートはハード コーディングされており（設定は不可）、サポートしているのは 10-BaseT/Half duplex だけです。

Paragon II は次に示す 4 つの基本的なデバイス タイプで構成されています。

メイン スイッチ ユニット (メイン ユニット)

モデル：P2-UMT242、P2-UMT442、P2-UMT832M、P2-UMT1664M



スタッキング ユニット

モデル：P2-UMT832S、P2-UMT1664S



ユーザ ステーション

モデル：P2-UST、P2-EUST、P2-EUST/C



コンピュータ インターフェース モジュール (CIM)

モデル：P2CIM-AP52、P2CIM-AUSB、P2CIM-ASUN など



パッケージの内容

Paragon メイン ユニット (P2-UMT242、P2-UMT442、P2-UMT832M、P2-UMT1664M)：

- メイン ユニット x1
- 6.1 m テスト用 Cat5 ケーブル x2
- 1.8 m AC 電源コード x1
- ラックマウント キット x1 (ブラケットおよび関連ねじを含む)
- クイック セットアップ ガイド x1

Paragon スタッキング ユニット：

- スタッキング ユニット x1
- RUMT-1U-LM304 または RUMT-2U-LM304 ラックマウント キット x1
- 15 cm スタッキング ケーブル -- ケーブルの本数は、ご購入のモデルによって異なります。
 - P2-UMT832S：スタッキング ケーブル x1
 - P2-UMT1664S：スタッキング ケーブル x2
- AC 電源コード x1

Paragon ユーザ ステーション (P2-UST、P2-EUST、または P2-EUST/C) :

- ユーザ ステーション モジュール x 1
- 1.8 m AC 電源コード x 1
- 接続モニタ用 1.8 m AC 電源延長コード x 1
- 5 m DB9 オス-メス変換シリアル管理用ケーブル x 1

Paragon IP 対応のユーザ ステーション (P2-USTIP1/2) :

- IP 対応のユーザ ステーション モジュール x 1
- 1.8 m AC 電源コード x 1
- 5 m DB9 オス-メス変換シリアル管理用ケーブル x 1

ラック マウント

Paragon II ユーザ ステーションとほとんどの KVM スイッチは、標準 19 インチの設備ラックに縦 1U (4.4 cm) のスペースで設置できます。ただし、P2-UMT1664M スイッチは 2U (8.9 cm) のスペースに設置する必要があります。Paragon スイッチをラックに設置するには、デバイスと同梱されているブラケットとねじを使用します。ユーザ ステーションをラックに設置するには、Raritan の RUST-LM304 ラックマウント キットを使用します。Paragon スイッチまたはユーザ ステーションは、ラックの前向きにも後ろ向きにも設置できます。

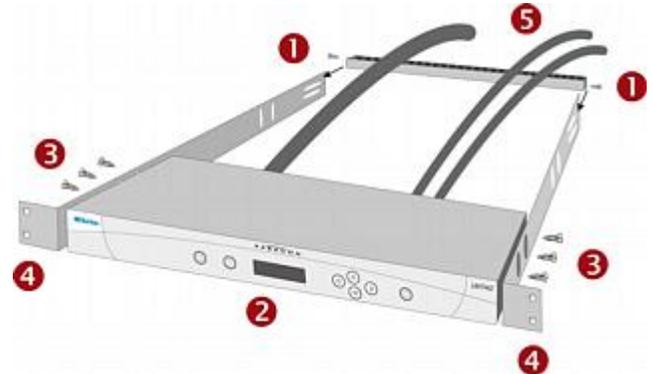
注：スイッチのブラケットを紛失したり損傷した場合は、1U スイッチには RUMT-1U-LM304 キットを使用し、P2-UMT1664M には RUMT-2U-LM304 を使用して、交換します。

前方マウント

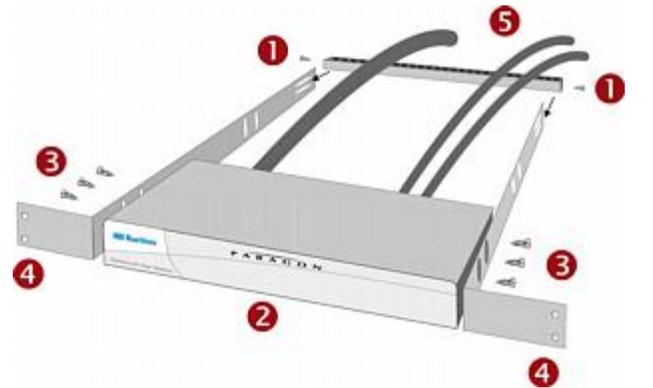
手順は、前方ラックマウントの図に示されている番号に対応します。

1. 同梱のねじ 2 本を使用して、ケーブル支持棒をサイドブラケットの後部に固定します。
2. リア パネルをケーブル支持棒に向けた状態で、フロントパネルがサイドブラケットの「耳」に接触するまで、サイドブラケット間でユーザ ステーションまたは KVM スイッチをスライドさせます。
3. 残っている同梱のねじ (両側それぞれに 3 本) を使用してユーザ ステーションまたはマトリックス スイッチをサイドブラケットに固定します。
4. 組み立て部品全体をラックに取り付け、ねじ、ボルト、ケージ ナットなどを使用し、サイドブラケットの耳をラックのフロント レールに固定します。
5. ユーザ ステーションまたはスイッチのリア パネルにケーブルを接続する場合は、ケーブル支持棒の上方を通します。

Paragon スイッチの前方ラックマウント



Paragon ユーザ ステーションの前方ラックマウント

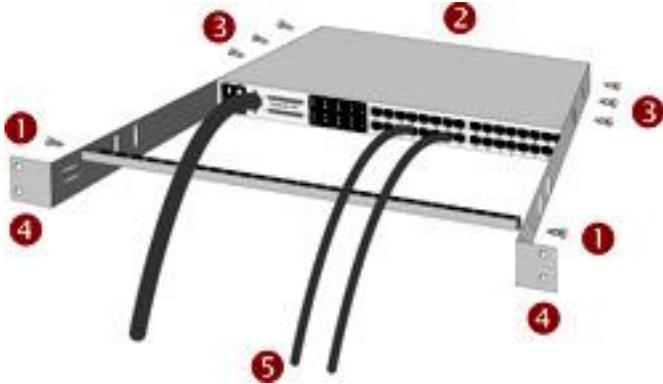


後方マウント

手順は、後方ラックマウントの図に示されている番号に対応します。

1. 同梱の 2 本のねじを使用して、サイドブラケットの前面 (サイドブラケットの「耳」の近く) にケーブル支持棒を固定します。
2. リア パネルをケーブル支持棒に向けた状態で、フロントパネルがサイドブラケットの後端に接触するまで、サイドブラケット間でユーザ ステーションまたは KVM スイッチをスライドさせます。
3. 残っている同梱のねじ (両側それぞれに 3 本) を使用してユーザ ステーションまたはマトリックス スイッチをサイドブラケットに固定します。
4. 組み立て部品全体をラックに取り付け、ねじ、ボルト、ケージ ナットなどを使用し、サイドブラケットの耳をラックのフロント レールに固定します。
5. ユーザ ステーションまたはスイッチのリア パネルにケーブルを接続する場合は、ケーブル支持棒の上方を通します。

Paragon スイッチの後方ラックマウント



ユーザステーションの後方ラックマウント



インストール基本作業

インストールする前に、すべてのサーバおよび Paragon II デバイスの電源を切断していることを確認します。基本的な Paragon II システムのインストールでは、次の手順を実行します。

- 手順 (A) : スタッキングユニットをメインユニットに接続します (オプション)。
- 手順 (B) : ユーザステーションをメインユニットに接続します。
- 手順 (C) : サーバを Paragon II のメインユニットとスタッキングユニットに接続します。

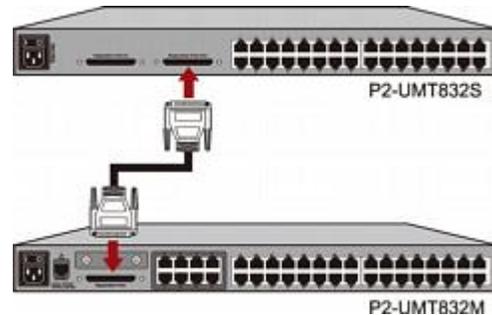
注：ユーザとサーバは最大 300 m 離れた場所に配置できます。ただし、最適なビデオ品質を得るには、CIM と Paragon II スイッチ間のケーブル長を 30.5 m 未満に制限してみてください。可能であれば、良好なビデオ品質を得るためにユーザとターゲットサーバ間の合計ケーブル長を 152 m 未満に制限してください。

手順 (A) : スタッキングユニットの接続

メインユニットで P2-UMT832M などのスタッキングユニットの使用がサポートされている場合は、互換性のあるスタッキングユニットを接続してシステム内のチャンネルポートの数を増やすことができます。

▶ 1 つ以上のスタッキングユニットを接続するには

1. メインユニットに電源コードを接続します。
2. スタッキングユニットに電源コードを接続します。
3. ご購入のスタッキングユニットに応じて、1 本または 2 本のスタッキングケーブルを使用してスタッキングユニットをメインユニットに接続します。
 - a. P2-UMT832S を P2-UMT832M に接続する場合：
 - スタッキングケーブルの一方の端を、スタッキングユニットの「Expansion Port Out [拡張ポート出力]」に接続します。
 - ケーブルのもう一端を、メインユニットの「Expansion Port (拡張ポート)」に接続します。



- b. P2-UMT1664S を P2-UMT1664M に接続する場合：
 - スタッキングケーブルの一方の端を、スタッキングユニットの「Expansion Port Out A [拡張ポート出力 A]」に接続します。ケーブルのもう一方の端を、メインユニットの下部の「Expansion Port In [拡張ポート入力]」に接続します。
 - スタッキングケーブルのもう一方の端を、スタッキングユニットの「Expansion Port Out B [拡張ポート出力 B]」に接続します。ケーブルのもう一方の端を、メインユニットの上部の「Expansion Port In [拡張ポート入力]」に接続します。

4. (オプション) P2-UMT832M メインユニットの場合、最大 3 台の P2-UMT832S スタッキングユニットをカスケード接続できます。スタッキングユニットを追加するには、次の手順に従います。

- a. スタッキングケーブルの一方の端を、メインユニットに接続されている最後のスタッキングユニットの「Expansion Port In [拡張ポート入力]」に接続します。
- b. ケーブルのもう一端を、新しく追加したスタッキングユニットの「Expansion Port Out (拡張ポート出力)」に接続します。

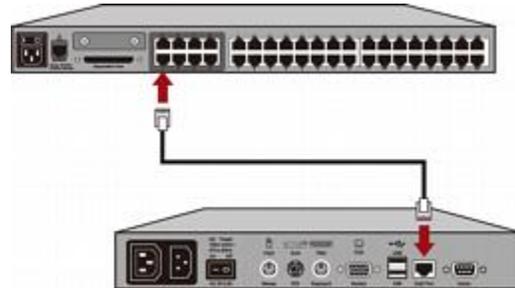
- c. 新しく追加したスタッキング ユニットに電源コードを接続します。
 - d. スタッキング ユニットをもう 1 台追加する場合は、手順 a ~ c を繰り返します。
5. すべての Paragon II デバイスの電源を入れます。
 6. メイン ユニットのフロント パネルで接続されているスタッキング ユニットの合計数を設定します。
 - a. **FUNC** ボタンを押して Function Menu [機能メニュー] を表示します。
 - b. **△** ボタンと **▽** ボタンを押して Stacking Support [スタッキング サポート] を選択します。
 - c. **ENT** ボタンを押して選択を確定します。
 - d. **△** ボタンおよび **▽** ボタンを押して、Stacking Units [スタッキング ユニット] の総数を選択します (P2-UMT832M では最高 3 台、P2-UMT1664M では最高 1 台)。
 - e. **ENT** ボタンを押して設定を保存します。
 7. 各スタッキング ユニットのフロント パネルで一意的スタッキング ユニット ID を設定します。
 - a. **FUNC** ボタンを押して Function Menu [機能メニュー] を表示します。
 - b. **△** ボタンと **▽** ボタンを押して Set Stack ID [スタック ID の設定] を選択します。
 - c. **ENT** ボタンを押して選択を確定します。
 - d. **△** ボタンと **▽** ボタンを押して数値 ID を割り当てます。ID 割り当てのガイドラインは次のとおりです。
 - メイン ユニットに直接接続されている最初のスタッキング ユニットの ID として 1 を割り当てます。
 - 最初のスタッキング ユニットに接続されている 2 番目のスタッキング ユニットの ID として 2 を割り当てます。
 - 2 番目のスタッキング ユニットに接続されている 3 番目のスタッキング ユニットの ID として 3 を割り当てます。
 - e. **ENT** ボタンを押して設定を保存します。
 8. すべての Paragon II デバイスの電源を切断します。
 9. まずスタッキング ユニットの電源を入れます。複数のスタッキング ユニットがある場合は、最後のスタッキング ユニットから最初のスタッキング ユニットの順に電源を入れます。
 10. メイン ユニットの電源を入れます。

手順 (B) : ユーザ ステーションの接続

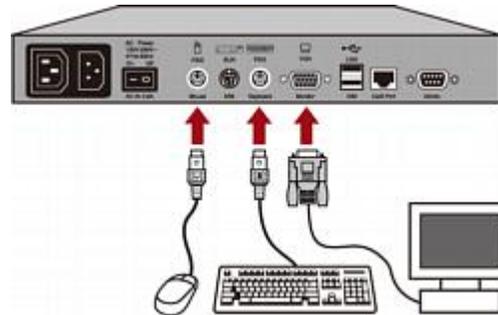
▶ 1 つ以上のユーザ ステーションを接続するには

1. ユーザ ステーションをメイン ユニットに接続します。

- a. Cat5 UTP ケーブルの一方の端を、メイン ユニットの背面にあるユーザ ポート番号 1 に接続します。
- b. ケーブルのもう一方の端を、ユーザ ステーションの背面にある RJ45 ポートに接続します。



2. 電源コードをユーザ ステーションに接続し、電源を入れます。
3. ユーザ ステーションに、PS/2 または USB キーボード、マウス、および VGA モニタを接続します。リリース 4.8 から有線とワイヤレスの両方のキーボードおよびマウスがサポートされます。



注 1 : P2-EUST/C の USB ポートは、キーボードとマウスにしか使用できません。

注 2 : P2-EUST では、リリース 4.8 から Sun dim8 キーボードがサポートされなくなりましたが、Sun USB キーボードはまだサポートされます。Sun dim8 キーボードを使用する必要がある場合は、P2-EUST ユーザ ステーションを 3F5 にダウングレードしてください。

4. モニタの電源を入れます。
5. 残りのユーザ ポートに接続する他のすべてのユーザ ステーションで手順 1 ~ 4 を繰り返します。

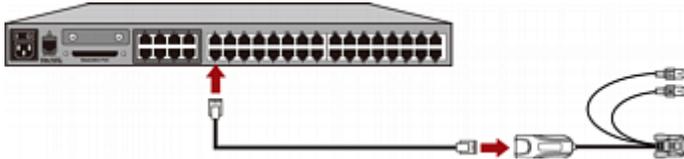
ユーザ ステーションでは VGA-to-DVI コンバータの使用はサポートされません。

手順 (C) : サーバの接続

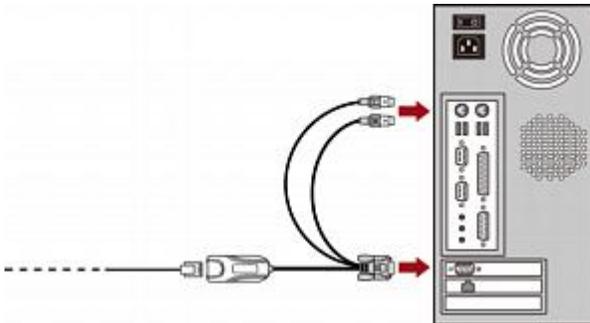
▶ 1 つ以上のサーバを接続するには

1. Paragon II CIM をメイン ユニットまたはスタッキング ユニットに接続します。

- a. Cat 5 UTP ケーブルの一方の端を、メイン ユニットまたは接続されているスタッキング ユニットの背面にあるチャンネル ポート番号 1 に接続します。
- b. ケーブルのもう一方の端を、CIM の RJ45 ポートに接続します。



2. ご購入の CIM モデルに応じて、CIM のコネクタをサーバの PS/2 または USB キーボード、マウス、および VGA ポートに接続します。



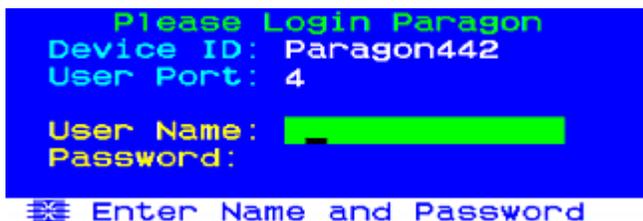
ヒント：サーバに VGA ポートではなく DVI-D コネクタがある場合は、Smart View DVI-to-VGA (メス-メス) コンバータ (DV-101) を使用して CIM をサーバに接続することをお勧めします。現在は Smart View DVI-to-VGA コンバータのみがテストされ、Raritan によって Paragon II での使用が公式にサポートされています。

3. サーバの電源を入れます。
4. 残りのチャンネル ポートに接続する他のすべてのサーバで手順 1 ~ 3 を繰り返します。

初期認証

▶ Paragon システムに接続されているサーバを操作できることを確認するには

1. Paragon II システムのすべてのデバイスの電源を入れます。
2. ユーザ ステーションに接続されているモニタにオン スクリーン ユーザ インターフェイス (OSUI) の Login [ログイン] 画面が表示されます。



3. 適切なフィールドにユーザ名とパスワードを入力し、<Enter> キーを押します。たとえば、管理者の場合は次のように入力します。
 - a. **User Name [ユーザ名]** フィールドに「admin」と入力し、<Enter> キーを押します。
 - b. **Password [パスワード]** フィールドに「raritan」（デフォルトのパスワード、すべて小文字）と入力し、<Enter> キーを押します。パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。

ヒント：一般ユーザのユーザ名を入力することもできます。一般ユーザの工場出荷時のデフォルト ユーザ名は、使用しているメイン ユニットのモデルに応じて **user01** ~ **user15** です。デフォルトでは、これらのユーザ名のパスワードはありません。

4. Selection Menu [選択メニュー] が表示されます。



サーバに接続しているチャンネルが緑色で表示されます。最初はどのサーバにも名前がないため、すべての **Name [名前]** フィールドは空白になっています。

注：唯一の例外は、IBM BladeCenter シャーシです。デバイスのデフォルト名として「IBM-Blade」が表示されません。

5. キーボードで <↓> または <↑> キーを押し、ハイライトされた部分を緑色のチャンネルのいずれかに移動してから <Enter> キーを押します。
6. これで、選択したサーバをキーボードやマウスで表示したり制御したりできます。
7. <Scroll Lock> キーを 2 回すばやく押して、OSUI を起動し、次のいずれかを実行します。
 - 確認する別の緑色のチャンネルを選択するには、手順 5 を繰り返します。
 - システムからログアウトするには、<F9> キーを押します。

ビデオ ゲインの調整

ビデオ ゲインを調整してビデオ画像の焦点を合わせることができます。この機能は、液晶フラット パネル モニタを使用

している場合に特に有効です。対象チャンネルのビデオゲインを調整するには、各チャンネルに個別にアクセスする必要があります。ことに注意してください。

▶ ビデオゲインを調整するには

1. ホットキー (デフォルト: <Scroll Lock>) を 2 回すばやく押し、Selection Menu [選択メニュー] を有効にします。
2. キーボードのキーパッド上の <+> キーと <-> キー (プラス記号とマイナス記号) を押し、ビデオ画像の焦点が合うまで調整します。
 - P2-UST の場合、ビデオゲインの範囲は -15 ~ +15 です。

```
Video gain changed: +03
Scr1Lock | Scan | Skip | NCSH
```

- P2-EUST または P2-EUST/C の場合、ビデオゲインの設定名は「AGC」、範囲は 0 ~ +6 です。

```
AGC:+000 R:00 G:00 B:00
Scr1Lock | Scan | Skip | NCSH
```

3. <Esc> キーまたは <Enter> キーを押して OSUI を終了し、ビデオ設定を保存します。
4. 別のチャンネルのビデオゲイン設定を調整するには、そのチャンネルにアクセスして手順 1 ~ 3 を繰り返します。

マルチプラットフォーム CIM 対応表

PS/2 CIM

CIM モデル	PS/2 コネクタ	VGA コネクタ	ローカルポート
P2CIM-APS2	V	HD15	
P2CIM-APS2DUAL	V	HD15	
P2CIM-APS2-B	V	HD15	
UKVMC	V	HD15	V

USB CIM

CIM モデル	USB コネクタ	VGA コネクタ	ローカルポート
P2CIM-AUSB*	V	HD15	
P2CIM-AUSB DUAL*	V	HD15	
P2CIM-AUSB-B	V	HD15	

CIM モデル	USB コネクタ	VGA コネクタ	ローカルポート
P2CIM-AUSB-C*	V	HD15	

* これらの USB CIM では、SUN USB ポートを介した Sun サーバもサポートされます。

シリアル CIM

CIM モデル	シリアル (RS-232) コネクタ	VGA コネクタ	ローカルポート
P2CIM-SER	V	HD15	
P2CIM-SER-EU	V	HD15	
AUATC	V	HD15	V
P2CIM-PWR (電源タップ用)	V	HD15	

SUN CIM

CIM モデル	SUN MINI DIN8 コネクタ	VGA コネクタ	ローカルポート
P2CIM-ASUN	V	HD15	
USKVMC	V	13w3/HD15	V

特別な機能を持つ CIM

CIM モデル	自動歪み補正機能	IBM プレカードサーバのサポート	カードリーダーのサポート
P2CIM-APS2	V		
P2CIM-APS2DUAL	V		
P2CIM-APS2-B	V	V	
P2CIM-AUSB	V		
P2CIM-AUSB DUAL	V		
P2CIM-AUSB-B	V	V	

CIM モデル	自動歪み補正機能	IBM プレカードサバのサポート	カードリーダーのサポート
P2CIM-AUSB-C	V		V
P2CIM-ASUN	V		

その他の情報

Paragon II™ および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト (www.raritan.com) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープン ソース コードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。